

# 太平洋の奇跡—フォックスと呼ばれた男— (2011)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 Color

時間 128分

初公開日 2011/02/11

公開情報 東宝

映倫 G

## 【キャッチコピー】

生きて、  
日本に帰ろう——

## 【解説】

太平洋戦争末期、玉碎の島サイパンで、たった47人で敵に立ち向かい、多くの民間人を守り抜いた実在の軍人、大場栄大尉の誇り高き戦いを映画化した戦争ドラマ。原作は、敵として戦った元アメリカ兵ドン・ジョーンズの『タッポーチョ「敵ながら天晴」大場隊の勇戦512日』。主演は「冷静と情熱のあいだ」の竹野内豊、共演に「20世紀少年」の唐沢寿明。監督は「愛を乞うひと」「必死剣 鳥刺し」の平山秀幸。また、アメリカ側パートは「サイドウェイズ」のチェリン・グラック監督が担当した。

1944年。日本軍にとっての重要な拠点であるサイパン島は、圧倒的な物量に勝るアメリカ軍の前に、陥落寸前まで追い込まれていた。そしてついに、サイパン守備隊幹部は日本軍玉碎命令を発令する。そんな中、玉碎を覚悟しながらも生き延びた大場栄大尉は、無駄死にすることなくアメリカ軍への抵抗を続けることを決意する。そんな彼のもとには、その人望を慕って、上官を失った兵士や民間人たちが集まつてくる。やがて彼らは、サイパン島最高峰タッポーチョ山に潜み、ゲリラ戦を展開していく。その統率された部隊に翻弄されるアメリカ軍は、大場大尉を“フォックス”と呼び、警戒を強めていくが…。

## 【クレジット】

監督	平山秀幸
製作	大山昌作 平井文宏 島谷能成 阿佐美弘恭 村上博保 服部洋 大橋善光
製作指揮	宮崎洋
シニアプロデューサー	菅沼直樹
エグゼクティブプロデューサー	奥田誠治
プロデューサー	飯沼伸之 伊藤卓哉 甘木モリオ 田中敏雄

原作	ドン・ジョーンズ	Don Jones	『タッポーチョ「敵ながら天晴」大場隊の勇戦512日』
脚本	西岡琢也 グレゴリー・マルケット チェリン・グラック	Gregory Marquette Cellin Gluck	
撮影	柴崎幸三		
美術	中澤克巳		
編集	洲崎千恵子		
音楽	加古隆		
照明	上田なりゆき		
録音	小松将人		
第2班監督	尾上克郎		
助監督	吉田和弘		
監督補	蝶野博		
ヴァイオリン演奏	宮本笑里		
U.S.班監督	チェリン・グラック	Cellin Gluck	
出演	竹野内豊 ショーン・マッゴーワン 井上真央 山田孝之 中嶋朋子 岡田義徳 板尾創路 光石研 柄本時生 近藤芳正 酒井敏也 ベンガル トリーント・ウィリアムズ ダニエル・ボールドウィン 阿部サダヲ 唐沢寿明	Sean McGowan Bengaru Treat Williams Daniel Baldwin	大場栄 大尉 ハーマン・ルイス 大尉 青野千恵子 木谷敏男 曹長 奥野春子 尾藤三郎 軍曹 金原 少尉 永田 少将 池上 上等兵 伴野 少尉 馬場明夫 大城一雄 ウェシンガー 大佐 ポラード 大佐 元木末吉 堀内今朝松 一等兵